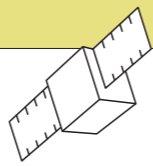


3.18 Time Schedule

mon



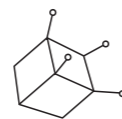
時間	発表タイトル	登壇者	所属
8:30~9:00	受付		
9:00~	開会の挨拶、趣旨説明		
9:00~9:05		中須賀 真一	東京大学
9:05~9:10		上條 健	東京大学国際オープンイノベーション機構
9:10~	超小型宇宙科学・探査ミッション(その1)		
9:10~9:25	多数の小天体探査・系外惑星科学への展開	亀田 真吾	立教大学
9:25~9:40	超小型衛星と超小型X線撮像分光装置による多様な天文・探査計画	江副 祐一郎	首都大学東京
9:40~9:55	超小型テラヘルツ探査機 Terex-1	笠井 康子	NICT
9:55~10:10	宇宙理学の国際ミッションを超小型探査機が担う: ESA's Fast mission	笠原 慧	東京大学
10:10~10:25	The MILO Institute: Affordable Access to Space Science	Chris Baran	GEOshare
10:25~10:40	超小型衛星用推進系の世界動向とこれからのビジョン	小泉 宏之	東京大学
10:40~10:55	休憩		
10:55~	超小型宇宙科学・探査ミッション(その2)		
10:55~11:10	センサーから見た超小型衛星の宇宙物理学分野での活用	上野 宗孝	神戸大学
11:10~11:25	重力波天文学や時間軸天文学に向けたスケラブルな超小型X線衛星	榎戸 輝揚	京都大学
11:25~11:40	超小型衛星による広視野全天X線モニターの検討	玉川 徹	理化学研究所
11:40~11:55	突発天体探査のための超広視野紫外線サーベイ衛星計画	谷津 陽一	東京工業大学
11:55~13:00	昼食		
13:00~	超小型宇宙科学・探査ミッション(その3)		
13:00~13:15	サブ秒角でX線撮像する多重像X線干渉計 MIXIM	林田 清	大阪大学



時間	発表タイトル	登壇者	所属
13:15~13:30	超小型衛星による長周期トランジット惑星探査 (LOTUS)	河原 創	東京大学
13:30~13:45	超小型衛星を用いた光速等方性検証ミッションの提案	武田 紘樹	東京大学
13:45~13:55	休憩		
13:55~14:20	基調講演 1 超小型衛星による深宇宙探査のこれまでと将来展望	船瀬 龍	東京大学
14:20~14:45	基調講演 2 Expanding Exploration with Planetary Small Spacecraft	John Baker	NASA/JPL
14:45~15:10	基調講演 3 Spire's Earth Observation Cubesat Constellation	Takayuki Yuasa	Spire Global, Inc.
15:10~15:25	休憩		
15:25~	Enabling Technology		
15:25~15:40	打上げ手段としてのISS衛星放出利用と現状	永崎 将利	スペース BD
15:40~15:55	国際宇宙探査機会を利用した超小型深宇宙探査ミッションの展望	尾崎 直哉	JAXA/ISAS
15:55~16:10	Development of N2O/HDPE Hybrid Rocket for SmallSat Propulsion	Landon Kamps	北海道大学
16:10~16:25	超小型衛星との相性の良い多用途の推進系(MFMP-PROP)の紹介	佐原 宏典	首都大学東京
16:25~16:40	超小型衛星を利用した惑星探査における深宇宙通信の技術的課題	冨木 淳史	JAXA/ISAS
16:40~16:55	カナダ Inuvik Satellite Station の全方位フェイズド・アレイ・アンテナ設置計画	賀谷 信幸	WaveArrays
16:55~17:10	小型衛星の高知覚化と搭載リリースの共有化の提案	木村 真一	東京理科大学
17:10~17:25	JAXA 革新的衛星技術実証2号機に採択された高専連携衛星1号機 (KOSEN-1) について	今井 一雅	高知工業高等専門学校
17:25~17:40	休憩		
17:40~	超小型衛星によるミッション実現の考え方・総合討論	五十里 哲	東京大学
18:20	終了		
18:30~	交流会 (会費制)		

3.19 Time Schedule

tue



時間	発表タイトル	登壇者	所属
8:30~9:00	受付		
9:00~9:02	開会の挨拶、趣旨説明	中須賀 真一	中須賀 真一
9:02~	地球観測		
9:02~9:20	早期軌道上実証への取組と小型 SAR 衛星の開発	小畑 俊裕	東京大学
9:20~9:38	AxelGlobe が切り拓く未来	太田 祥宏	アクセルスペース
9:38~9:56	CE-SAT-I の運用成果と今後の展開について	酒匂 信匡	キヤノン電子
9:56~10:14	静止リモセンに向けた超小型衛星群による合成開口望遠鏡	宮村 典秀	明星大学
10:14~10:32	衛星搭載降雨レーダの小型化へ向けた検討	高橋 暢宏	名古屋大学



時間	発表タイトル	登壇者	所属
10:32~10:50	南極における大気重力波のスーパープレッシャー気球による観測	斎藤 芳隆	JAXA/ISAS
10:50~11:05	休憩		
11:05~11:30	超小型衛星市場への参入支援制度	国澤 朋久	経済産業省
11:30~	宇宙へのアクセス		
11:30~11:45	CubeSat で宇宙利用を加速する- Rapid IOD プラットフォーム構想	平松 崇	慶應義塾大学
11:45~12:00	量産を見据えた超小型“スカイラブ”衛星について	勝間 亮	Flight Plan Original
12:00~12:15	三井物産 x 宇宙 ~超小型衛星アプリケーションの実証プラットフォームの提案~	本田 拓馬	三井物産
12:15~12:20	JAXA 革新実証プログラムの紹介	香河 英史	JAXA
12:20~13:00	まとめ タスクフォースの活動について 超小型衛星による地球観測の今後とエコシステムの提案および討論	祖父江 真一 中須賀 真一	JAXA 東京大学
13:00	終了		